

**泉南地域
地域活性化プラン**

平成 19 年 7 月

泉南地域活性化推進協議会

1 . 泉南地域における地域活性化の目標・方向性

1 - 1 泉南地域における地域産業の現状と課題

1 - 2 新たな地域産業創出の必要性和可能性

1 - 3 泉南地域の特性・産業資源

1 - 4 地域活性化の目標・方向性

2 . 地域資源を活かした新しい事業の創出方策

2 - 1 地域資源の活用イメージ

2 - 2 活用が期待される代表的地域資源

2 - 3 事業創出に向けた具体的方策

3 . 地域活性化の推進体制の構築

3 - 1 地域活性化推進協議会の設置・運営

3 - 2 支援機関・関係団体の役割

4 . 助成対象事業の選定・支援

4 - 1 助成対象事業の要件

4 - 2 助成限度額、助成率

4 - 3 事業選定方法（選定基準、選定委員会等）

5 . 事業目標の設定と評価

5 - 1 事業目標の設定

5 - 2 事業評価の方法と体制

1. 泉南地域における地域活性化の目標・方向性

1 - 1 泉南地域における地域産業の現状と課題

泉南地域の主要産業の現状

～食品製造業、繊維、機械金属製造業の集積～

泉南地域は大阪府内9ブロック中、事業所数は第5位、従業者数は第8位で、集積規模は決して大きい地域ではない。

産業全体でみると、事業所・従業者数とも府域全体の傾向とほぼ同様（上位3位までは全く同じ）で、事業所数では「卸売・小売業」、「サービス業（他に分類されないもの）」、「飲食店・宿泊業」、従業者数では「卸売・小売業」、「製造業」、「サービス業（他に分類されないもの）」が上位を占めている。

製造業では、泉佐野市（泉佐野食品コンビナート）を中心に大手食品工場が集積することから、従業者数・製造品出荷額・粗付加価値額のいずれでも「食料品製造業」が第1位となっている（一事業所当たりの従業者数は「食料品製造業」は59.8人と、泉南地域ブロック全体の平均21.1人を大きく上回る）。

製造業事業所数では、「繊維工業」、「衣服・他繊維製品製造業」、「金属製品」が上位3位となっており、従業者数、製造品出荷額等の項目では「食料品製造業」、「金属製品」、「繊維工業」、「鉄鋼業」、「一般機械器具製造業」等が上位業種となっており、食料品、繊維、機械金属が泉南地域産業の中心産業となっている。

～繊維関連を中心とした地場産業技術の蓄積～

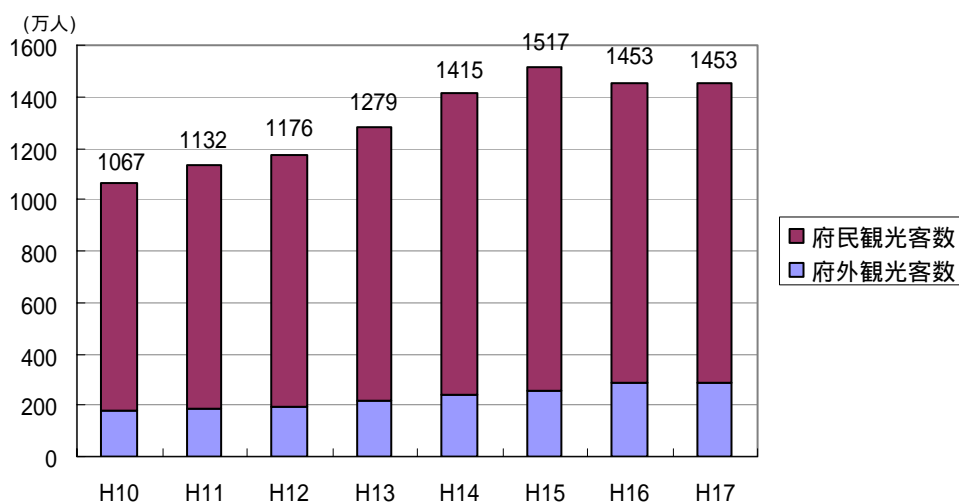
泉南地域は繊維関連の地場産業技術が多くみられ、主なものとして、毛布、織物、タオル、綿スフ織物、横編ニット、紡績、撚糸等が挙げられる。また、鋼索（ワイヤーロープ）も地場産業技術の一つである。

～豊かな自然、歴史観光資源を軸にした観光産業の可能性～

泉州地域（泉北地域を含む）の観光客数の推移をみると、平成15年まで一貫して増加を続けていたが、近年はやや頭打ちの状態となっている。

また、泉州地域の貴重な産業基盤資源である関西国際空港の利用状況については、関西国際空港が開港した平成6年以降は旅客、貨物ともに着実に増加傾向にあった。しかし、国際情勢等の影響により航空需要が低迷し、平成13年度から平成15年度は前年度割れの状態が続いていたが、平成16年度に回復し、2年連続の増加となっている。

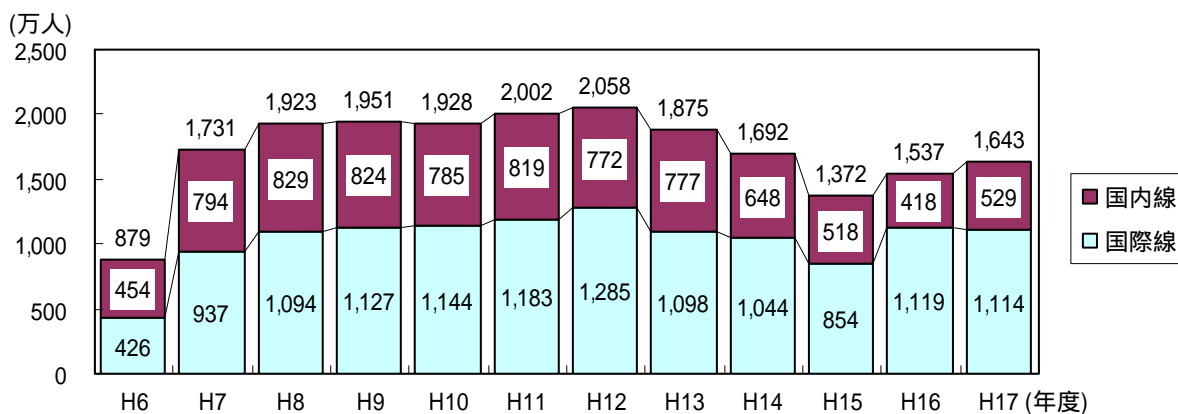
泉州地域の観光客数の推移



(資料) 大阪府「大阪府観光統計調査」

(注) 泉州地域：堺市、泉大津市、和泉市、高石市、忠岡町、岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町、岬町

関西国際空港の航空旅客数の推移



(資料) 関西国際空港(株)ホームページ

～ 自然の恵みの農林水産品の豊富さ ～

泉南地域の農業の大阪府に占めるシェアは、販売農家数で 20.4%、耕地面積で 20.4%、農業産出額は 28.7%を占める地域である。「なにわ特産品」として、泉南地域を産地とする、泉州キャベツ、大阪みかん、泉州たまねぎ、泉州さといも、水なす、大阪ふきが選定されており、また、水産品では泉州沖で獲れるマダコを近年「泉ダコ」としてブランド化し、全国にPRする取組なども進められている。

1 - 2 新たな地域産業創出の必要性と可能性

このような地域産業の現状から、泉南地域における新たな地域産業創出の必要性として、以下の点が挙げられる。

【泉南地域 新たな地域産業創出の必要性】

繊維等地場産業の活性化・高付加価値化が求められる。

一人当たり現金給与総額は、9地域内でもっとも少なく、新たな雇用につながる新産業創出が必要となってきたものと考えられる。

豊富な地域資源を有する地域であり、事業の推進、プロモーションの推進において、エリア・ブランドの創出に向けたイメージ戦略が重要となる。

関西国際空港という国内外の玄関口をもちながら、経済的な波及効果という面では、その効果が顕在化していない。

また、泉南地域の住民による活動や、地域の個性・特性から、泉南地域における新たな地域産業創出にあたって、以下の可能性がみられる。

【泉南地域 新たな地域産業創出の可能性】

農林水産資源、観光文化資源が豊富であり、NPO法人や地元自治体による観光・体験プログラムの開発、受入れ等の取り組みが進められており、そうした民の力を最大限に発揮できる仕組みづくりが有効である。

上記の点で行なわれている事業活動を対外的に訴求力のあるストーリー（物語）でつなぐことにより、その相乗効果が発揮されることが期待できる。

観光、健康（ヘルスケア）分野専門の大学が立地しており、産学連携を推進することによる新たな事業創出の可能性を有する。

1 - 3 泉南地域の特性・産業資源

泉南地域の特性と産業資源については、以下のような特徴を有する。

泉南地域の地域資源は繊維関連の地場産業技術、農林水産資源、自然や歴史文化、温泉などの観光資源が非常に豊富な地域である。

繊維関連の地場産業技術が豊富（泉北地域ブロックの和泉市・泉大津市とも共通）。泉佐野商工会議所・大阪タオル工業組合では、平成 18 年度から「JAPAN ブランド育成支援事業」として「泉州こだわりブランドの構築」に取り組むほか、熊取町商工会でも「地域資源 全国展開プロジェクト」を活用し、制菌繊維タオルの商品化を進めている。

地場産業技術に加え、他地域ブロックにはない泉南ならではの特徴として、大阪湾の水産資源、水ナスや玉ねぎ等の農産品等の農林水産資源が豊富であることがあげられる。加えて、漁業や農業の体験型観光や、熊野古道、戦火を免れた街並み、温泉等の観光文化面での地域資源が豊富にみられ、地元自治体による交流拠点施設等の整備も進んでいる。

その他、事業活動を支える産業基盤となる資源としては、関西国際空港のほか、りんくうタウンなど産業用地の開発も進んでいる。また、知的資源として、京大原子炉実験所等の研究拠点のほか、大学（大阪観光大学、大阪体育大学、関西医療大学、大阪河崎リハビリテーション大学、近畿職業能力開発大学校）も立地するほか、岸和田市内には和歌山大学サテライト・キャンパスも設置されており、観光、健康分野の知的資源の集積がみられ、産学連携による新事業創出の可能性を有する。

【泉南地域の地域資源分布】

分類	個別地域資源
産業技術資源 産業集積資源	<p>「泉州こだわりタオルブランドの構築」(泉佐野商工会議所・大阪タオル工業組合、JAPAN ブランド育成支援事業)</p> <p>「制菌繊維等調査販路開拓事業」による「キントーレ」開発((株)じばしん・熊取町商工会、地域資源 全国展開プロジェクト)</p> <p>地場産業(綿織物、タオル、染色、プリント加工)集積</p> <p>泉州桐箆笥(江戸時代からの伝統)</p> <p>伝統工芸 匠の技(和泉櫛等唐木指物、大阪欄間)</p> <p>作業用手袋</p> <p>紋羽織、破魔矢、紙幣用和紙を糸として織った新素材、独自性のあるデザインのエクステリア用品等</p> <p>和紙の布工房</p> <p>繊維産業、鉄工金属団地等金属加工業、木材コンビナート</p> <p>阪南ブランド、岸和田ブランド等地域ブランド</p> <p>和泉木綿</p> <p>エコニット製品の製造販売</p> <p>毛布製品の製造販売</p> <p>泉佐野食品コンビナート(大企業の食品工場が集積)</p> <p>熊取アトムサイエンスパーク構想</p> <p>京大原子炉研究所、大阪体育大学、関西医療大学と連携</p> <p>大阪府立水産試験所</p> <p>かるがもの里(農業集積)</p>
農林水産資源	<p>漁業体験・日曜朝市</p> <p>水産物(泉ダコ、あなご、しゃこ、しらす、がっちょ、いかなご、ワタリガニ、淡輪わかめ、谷川わかめ、昆布、てんぐさ等)</p> <p>農産物(泉州水ナス・包近のモモ・泉州黄たまねぎ・キウイ・椎茸、大阪みかん、しゅんぎく、泉州さといも、大阪ふき、紅ずいき、泉州キャベツ、大阪えだまめ等)</p> <p>ほの字の里(廃校跡を農林業体験宿泊施設に整備)</p> <p>農業庭園たわわ(ダム計画跡地を整備、貸農園等)</p> <p>地酒</p> <p>竹炭、竹酢液</p> <p>切花・蘭(泉州オーキッド他)</p>

<p>観光文化資源</p>	<p>岡田浦日曜青空朝市、泉佐野漁協青空市場、「こーたりーな」等の農水産品販売施設 犬鳴山温泉（犬鳴山修験道一日体験） 牛滝温泉 いよやかの郷 奥水間温泉 正木美術館（国宝3点、重要文化財12点を所有） 日根荘（全国で2つしかない荘園遺跡） 熊野古道と王子跡 さの町場（まちば）の町並み 熊取交流センター・煉瓦館（赤煉瓦綿布工場） 重文旧中家住宅等 田尻歴史館 夏・秋まつり（だんじり祭・やぐら・太鼓台・波太神社秋まつり等） 岸和田市中心市街地（駅、旧港、城を結ぶトライアングルゾーン・岸和田TMO） 本町のまちなみ とんぼ池公園 久米田池 国史跡「海会寺跡」 農業公園「花咲きファーム」 紀泉わいわい村（環境教育の里山） 金熊寺の梅林（大阪みどりの百選） サザンビーチ マーブルビーチ（夕陽、恋人の聖地） 根来街道（グリーンツーリズム企画） 山中溪さくらまつり等の自然景観 山中溪わんぱく王国 せんなん里海公園 淡輪海水浴場（ジャパンレディース等の開催） 淡輪ヨットハーバー 大阪府立青少年海洋センター（府下唯一ヨット体験が可能） 全日本ビーチバレージュニア男子選手権大会 日本バレーボール協会貝塚ナショナルトレーニングセンター 寺内町 水間公園 二色の浜公園（マリンスポットやアウトレットモール） 水間鉄道（全長5.5kmで水間駅は「近畿の駅100選」に選定） 永楽ダム周辺（大阪みどりの百選） 長松、小島自然海浜（大阪府下に唯一残る自然海岸、日本の夕陽百選） 小島海釣り公園（今秋オープン予定） 遊魚船（大型乗合釣船等が多数出航） 宇度墓古墳、西陵古墳 深日焼き 飯盛山ハイキングコース、甲山ハイキングコース 歴史ある神社、仏閣</p>
<p>産業振興拠点、人材他</p>	<p>関西国際空港 りんくうタウン（進出企業・地域企業マッチング） NPO法人の活動 里山保全活動</p>

泉南地域の地域資源マップ



1 - 4 地域活性化の目標・方向性

泉南地域の特性と産業資源を踏まえて、地域資源を活かした新たな産業の創出に関する方向性として、以下を取り上げる。

【泉南地域ブロック 活性化の方向性】

地場産品の高付加価値化・ブランド化と、
農林水産・歴史文化資源をつなぐエリア観光開発

『 交流エリア ・ 泉南 』

繊維産業をはじめとする地場産業技術と大学等のシーズをマッチングし消費者ニーズに応える新たな商品開発、大阪一豊富な農水産品を加工し新たな価値を加えた商品開発とブランド化、豊かな自然景観・温泉、歴史文化といった地域資源を生かしながら、農業体験や漁業体験など、学習欲、知識欲や人びととの交流を行ないたいといった多様化・高度化するニーズに応える観光プログラムの開発を進める。

また、それらとの相乗効果を高める方策として、泉南の「地域ブランド」強化を図るための活動を推進する。

大阪湾を取り囲む「海道」、熊野街道、紀州街道、浜街道といった「街道」、和泉の山並みとその裾野に広がる豊かな自然を貫く「山脈」が泉南地域を貫いている。それを地域を繋ぐ手がかりとして、地域間の連携を促進していく。

今後、消費の担い手だけでなく地域づくりの担い手としての期待も大きい団塊世代が主要なターゲットとして、地域と京阪神地域の都市生活者との交流により『交流エリア・泉南』としてのエリア・イメージを確立する。

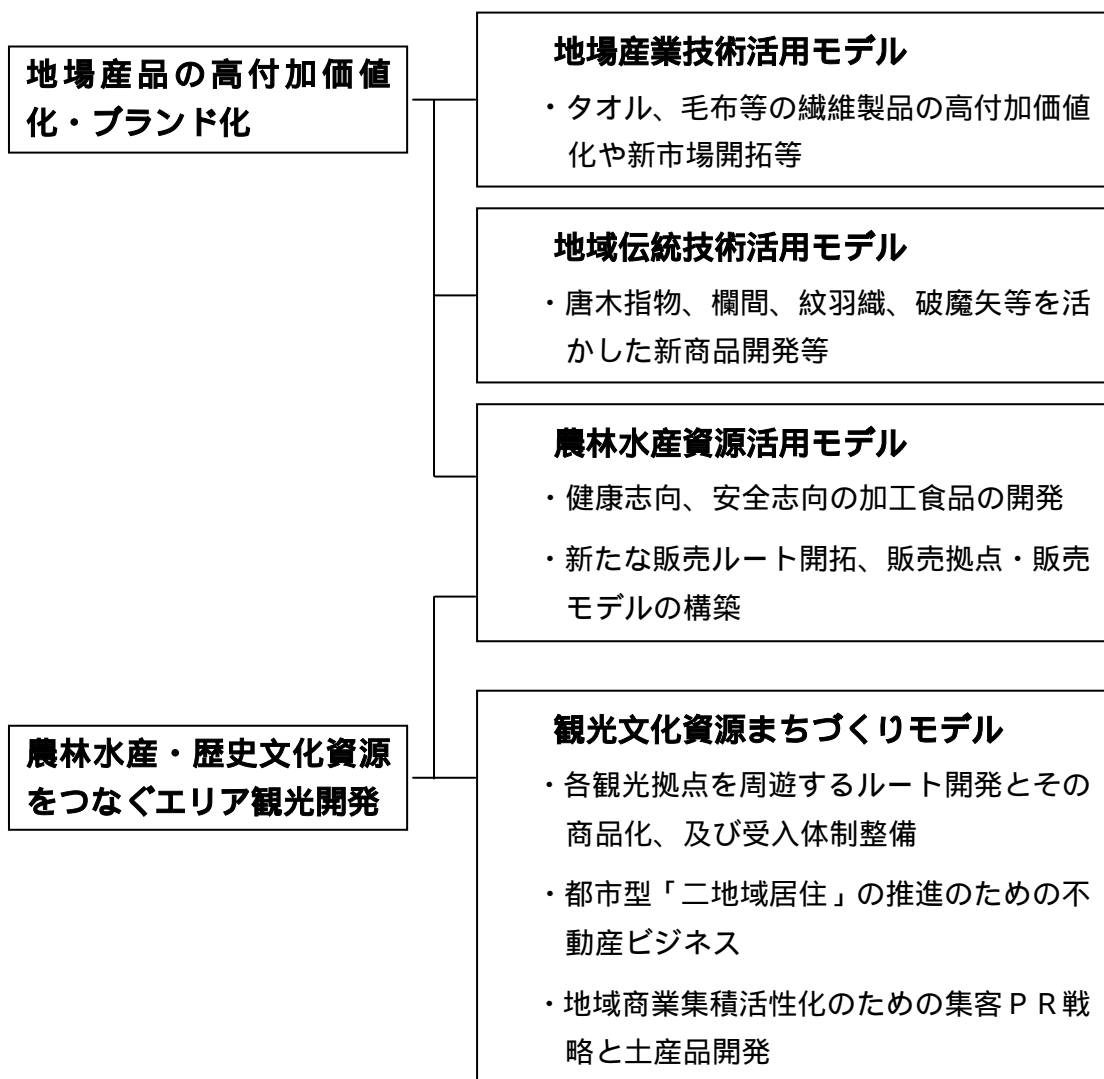
さらに、関西国際空港という交通インフラを生かしながら、連携型の観光周遊プログラムを開発・商品化することにより、個性ある点をつないだエリア展開を促進する。

地域産品の高付加価値化・ブランド化と泉南エリアでの集客交流事業の推進という両輪から生まれる好循環により、泉南地域の活性化を目指す。

2. 地域資源を活かした新しい事業の創出方策

2 - 1 地域資源の活用イメージ

地域の特性や地理的条件、豊富な産業資源等から、泉南地域における地域資源の活用イメージとして、以下を挙げる。なお、これらは平成 19 年度時点での地域資源活用イメージであり、今後、産業資源の発掘状況によっておのずと変化していく性質のものである。



2 - 2 活用が期待される代表的地域資源

平成 18 年度調査『地域資源現況調査事業』等で明らかになった地域資源の中でも、特に今後目指すべき地域活性化の方向性に合致し、今後の地域ブランド形成に資するとみられる代表的地域資源として、以下を抽出した。なお、これらも先に挙げた地域資源活用イメージと同様に、今後、産業資源の発掘状況によっておのずと変化していく性質のものである。

【泉南地域ブロック 活性化の方向性】

分類	代表的地域資源（例示）	
特に活用が期待される地域資源	伝統的地場産業技術	繊維関連の地場産業技術の集積 オンリーワン性の高い地域の伝統技術
	農林水産資源・景観	農産品（水なす） 水産品（泉ダコ、あなご、しゃこ、いかなご、ワタリガニ） （水産資源は府内では泉南地域のみ）
	歴史文化資源・まちなみ	戦前のまちなみや熊野古道・紀州街道、古墳、温泉（犬鳴山温泉、牛滝温泉など） 景観（山中溪）
担い手として期待される地域資源	技術力・専門性の高い中堅・中小企業、これらの企業グループや組合 繊維関連を中心とした伝統技術の職人、老舗 NPO、地元まちづくりグループ	
支援側として期待される地域資源	商工会・商工会議所、市役所、町役場 特産品販売所や歴史館等の観光拠点（熊取交流センター、旧中家住宅） 地域メディア 大学・研究機関（大阪観光大学、大阪体育大学、近畿職業能力開発大学校等） 域外企業（旅行事業者。交通事業者等）	
今後の発掘や活用が期待される地域資源	地元のまちづくりグループ、コミュニティ・ビジネスの担い手等	

2 - 3 事業創出に向けた具体的方策

泉南地域では、後述する地域活性化推進協議会を中心に、地域資源を活用した新事業創出に向けて、主に以下の方策等によって取り組むものとする。

地域資源活用産業や泉南の地域資源に関連する広報普及活動

おおさか地域創造ファンドや国の制度等に関する説明会の開催

マーケティングや地域ブランドの専門家等によるセミナー・相談会の開催

地域活性化コーディネーター等による地域資源、担い手等の発掘調査

地域資源発掘のための地域活動キーパソン参加型のラウンドテーブルの開催

地元のNPOやまちづくグループ等との連携による事業シーズ発掘

観光・健康（ヘルスケア）分野の研究機関・大学等との産学連携促進に向けたニーズ・シーズマッチングの促進 等

交通・旅行事業者等、域外の産業界との連携コーディネート

3. 地域活性化の推進体制の構築

3 - 1 地域活性化推進協議会の設置・運営

泉南地域では関係市町村・商工会等を構成員とする「泉南地域活性化推進協議会」を設置し、岸和田商工会議所を事務局として、運営にあたるものとする。

なお、同協議会には地域資源の発掘調査や新事業の創出促進にあたる専門人材として、地域活性化コーディネーターを置き、これら業務にあたるものとする。

【泉南地域活性化推進協議会 構成メンバー】

- ・ 岸和田市、岸和田商工会議所
- ・ 貝塚市、貝塚商工会議所
- ・ 泉佐野市、田尻町、泉佐野商工会議所
- ・ 忠岡町、忠岡町商工会
- ・ 熊取町、熊取町商工会
- ・ 泉南市、泉南市商工会
- ・ 阪南市、阪南市商工会
- ・ 岬町、岬町商工会
- ・ 株式会社日本政策金融公庫泉佐野支店 支店長
- ・ 株式会社池田泉州銀行先進テクノ推進部 次長
- ・ 学識経験者等

【泉南地域活性化推進協議会 事務局】

- ・ 岸和田商工会議所

また、助成対象事業の選定は、公募によるものとし、選定に際しては、外部有識者等で構成する「泉南地域助成事業選定委員会」を設置するものとする。

【泉南地域助成事業選定委員会 構成メンバー】

- ・ 大阪府立大学経済学部 教授
- ・ 株式会社ダン計画研究所
- ・ 株式会社日本政策金融公庫泉佐野支店
- ・ 金融機関職員

3 - 2 支援機関・関係団体の役割

「泉南地域活性化推進協議会」の支援機関・関係団体として、以下との連携を促進する。

【泉南地域活性化推進協議会 支援機関・関係団体と期待する役割】

- ・大阪府
- ・公益財団法人大阪産業振興機構
- ・大阪府環境農林水産研究所食とみどり技術センター
（主に農林水産資源に関する研究開発面の指導、産学官連携）
- ・大阪観光大学、大阪体育大学、近畿職業能力開発大学校等の大学研究機関
- ・地元歴史家グループ等
（主に観光文化資源に関する発掘支援） 等

4 . 助成対象事業の選定・支援

下記 4 - 1 ~ 3 の内容については、泉南地域支援事業助成金交付要綱による。

4 - 1 助成対象事業の要件

4 - 2 助成限度額、助成率

4 - 3 事業選定方法(選定基準、選定委員会等)

5 . 事業目標の設定と評価

5 - 1 事業目標の設定

「おおさか地域創造ファンド」の事業目標の内、「地域資源事業」の目標に準じて、事業実施期間（10年間）終了後の成果目標として、おおむね以下の通り設定する。

支援事業（プロジェクト）件数

おおむね40～50件（単年度あたり4～5件）

支援事業（プロジェクト）の参加企業数

おおむね80～100社（単年度あたり8～10社）

支援事業のうち中小企業新事業活動促進法に基づく経営革新計画の承認を得た数

おおむね20～30件（単年度あたり2～3件）

5 - 2 事業評価の方法と体制

上記事業目標の達成状況については、「泉南地域活性化推進協議会」に設置する「泉南地域助成事業選定委員会」によって、毎年度、評価を受けるものとする。

【改訂等履歴】

平成19年7月策定

平成20年7月改訂

平成21年1月改訂

平成24年4月改訂

以上